



広安里 第6号

発行 釜山日本人学校
釜山広域市水営区民楽路 19 番道 11
TEL 051-753-4166
FAX 051-756-4851
<http://user.chollian.net/~pusjpnsc>

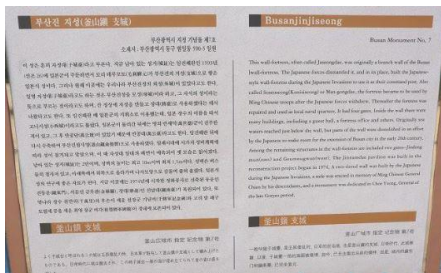
運命的な釜山駐在

釜山日本人会会長 山中義夫

最近NHK大河ドラマ「軍師・黒田管兵衛」に凝っています。NHKしか見られないからと言う理由ではなく、兎に角、人間模様が面白いですね。皆様もご存知の豊臣秀吉、明智光秀、徳川家康等々、歴史上の有名な人物が我儘な豊臣秀吉の下で奮闘する様は、そのまま現代（サラリーマン）社会にも相通じ、面白くも有り、また悲哀を感じる場面も多々有ります。何と言っても各人物の丁々発止の駆け引きは個人的にも非常に参考になります。このドラマに特に惹かれる理由は、何故私が釜山に駐在したのか、を自問自答する機会を与えて呉れたからかも知れません。



豊臣秀吉と言えば、「朝鮮出兵」を思い起こす方が多いと思いますが、その拠点になったのが佐賀県唐津市に築かれた「名護屋城」で、対馬を経由して釜山へ上陸しました。私の故郷は長崎県長崎市、家内の故郷は佐賀県唐津市で、対馬は5年前に一度旅行したことが有ります。（お恥ずかしい話ですが、対馬市が長崎県とは、釜山へ赴任するまで知りませんでした）4年前に他界した親父は長崎三菱造船所の溶接技師として定年を迎えましたが、息子の私が、ここ釜山で今まで担当したことの無かった造船関連の仕事に携わるのは何かの縁（運命）でしょうかね？

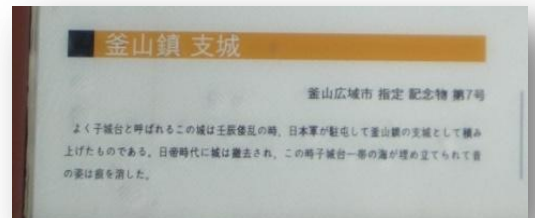


ドラマの中で黒田官兵衛はキリスト教の洗礼を受けたそうですが、私は無宗教者の方です。実家は浄土真宗を信じる仏教徒ですが、長崎に居た頃は、12月には「俄かキリスト教徒」になり大浦天主堂や浦上天主堂の教会や、産声を上げた深堀町の山奥にある「隠れキリシタン」の教会へこっそり忍び込んだことも有りました。

今思い起こせば、2006年5月21日釜山へ赴任して来たことには、何か強い縁（運命）があったのかも知れません。今年で9年目の釜山生活に突入しましたが、日本と韓国と言うよりも私個人と釜山の関係は永遠に忘れられないものになる様な気がします。今まで定住した中で長崎に次いで釜山が2番目に長いところになりますが、時間の長短ではなく釜山は私の心の奥底で郷愁を駆り立たせる何かを持っているのでしょう。

中国・満州で終戦を迎えソ連のシベリアへ抑留された経験を持つ親父が生前に語った話で大変恐縮ですが、極寒の中食料も乏しい抑留生活で最も苦しく耐え難かったのは、他でもない「孤独」だったとのことでした。ここ釜山では、日本人会、日本人学校、韓国の親善（睦）団体等々の方々との交流を通じ貴重な経験をさせて頂き心から感謝しております。

最近の日韓関係は？と聞かれると「政冷経熱」から「政冷経冷」とまで言われていますが、そのような「鼠の尻尾」みたいな話は止めて、お互い掛け替えの無い同伴者として未来永劫仲良くやって行けることを心から願っております。



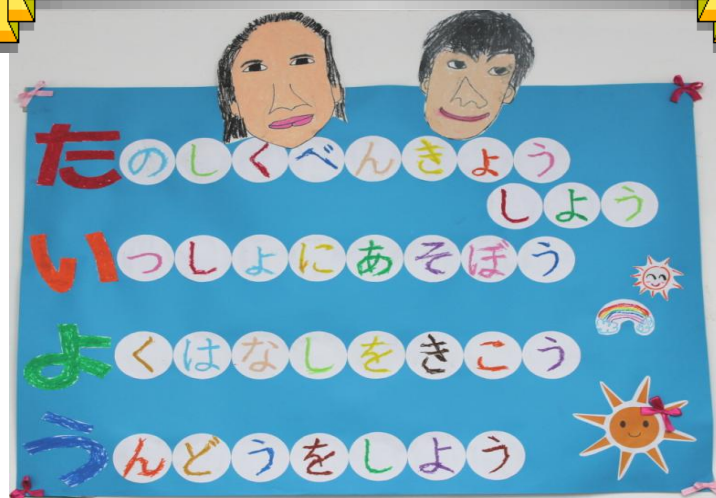
学級の窓

小学部 1 年生

学級目標

た・い・よ・う

小学部 1 年生は、男子 1 名、女子 1 名、合計 2 名です。とても仲が良く、和やかな学級です。元気いっぱい輝く笑顔で、互いに温かい心で接し、何事にも熱意をもって取り組む二人。そんな「太陽」のような二人の良さを、さらに伸ばしていきたいです。



小学部 1 年生の目指す児童像

- 最後まであきらめず、挑戦し続ける子ども
- 互いの良さを認め合い、協力し合う子ども
- 自ら気づき、考え、実行できる子ども

そのために、学級では、こんな取り組みをしています。

できるまで …挨拶・返事・靴そろえ、丁寧な字など、できるまでやり直し、努力を継続しています。

友達の良い所発見 …同学年だけでなく他学年の友達の良さも見つけ、毎日帰りの会で発表します。

当番・係活動 …自分の仕事に責任を持って活動しています。自ら気づき、仕事に取り組むことができます。

1 年生で、
なりたいよう
なりたいよう

1 ねんせいのできるようになりたいことは、えいごをもっとかいたりはなしたりすることです。なぜかという、えいけんで 3 きゆうを ごうかくしたいからです。

1 ねんせいのできるようになりたいことは、ローマ字をおぼえることです。なぜかという、大きくなってパソコンをつかうときにやくだてたいからです。

将来の夢



しょうらいのゆめは、びょうしさんになることです。なぜかという、だれかのかみをきったりパーマをしたりしたいからです。

しょうらいのゆめは、いえをたてるひとになることです。なぜかという、いろいろないえをつくってすみたいからです。

からつくんち！

教諭 成富 良太郎

佐賀県と聞いて、すぐに場所がわかる人はそれほど多くないだろう。長崎県や福岡県と混同している人もいると聞く。「出身は佐賀県です」と答えてそれ以上話が弾んだこともなければ、尋ねられることもほとんどない。全国調査の小学生の県名認知度では、佐賀県は、最下位から4位以内という悲しい結果だ。因みに、1位北海道2位沖縄である。釜山日本人学校には、日本全国から子どもや先生が集まっている。それぞれの出身地名は知っていても、そこがどんな地域なのか案外知らないことが多いのではないだろうか。(私だけかもしれないが…。)佐賀県の認知度を少しでも上げるために、この場を借りて、故郷の宣伝を少しばかりさせてもらいたい。

佐賀県は九州北部に位置し、長崎県と福岡県に挟まれた人口約83万人の県だ。歴史上の人物では、早稲田大学の創設者である大隈重信や東京駅を設計した辰野金吾、近年では、江崎グリコの創業者江崎利一・森永製菓の創業者森永太郎・ソフトバンク創設者の孫正義は、佐賀県の出身だ。今放送されている大河ドラマ黒田官兵衛に出てくる名護屋城は、佐賀県の唐津市にある。その名護屋城は、1591年秀吉の命により大陸へ進出するため(朝鮮出兵、文禄・慶長の役)の前線基地として築城された。全国から徳川家康など160の大名と30万の兵が名護屋に集結した。今もいくつかの陣跡が残っている。そこから黒田官兵衛や石田三成・加藤清正らをはじめとして、約15万の兵がここ釜山周辺に攻め入ったそうだ。その秀吉の軍を迎え撃ち韓国の英雄とされているのが李舜臣だ。釜山タワーの前にその像がある。

蛇足になるが、学校の講堂にある大きな絵は、名護屋城跡地に隣接する県立名護屋城博物館と釜山日本人学校が交流した際に描かれた絵である。

陶磁器が好きな人は、佐賀県と聞いて唐津焼・有田焼(伊万里焼)の産地を思い浮かべるだろう。この陶磁器すべてが、実はこの韓国に由来すると言われている(諸説あるが…)。唐津焼きでは、中里太郎右衛門が有名だ。有田では、毎年5月に陶器市が開催され掘り出し物を目当てに全国から人々が集まる。個人的には、酒井田柿右衛門の色合いが好きだが、とにかく高い。庶民が家庭で日常的に使用できる代物ではない。世界的にも有名でパリのルーブル美術館やロンドンの大英博物館などにも所蔵してある。

このように、唐津市と韓国との密接な関係を感じる機会が多い。古く唐(から:韓・唐)などの大陸との窓口(津・港)だったことから「唐津」と名付けられたことから、その近い関係が伺いしれるだろう。

11月2・3・4日には、唐津くんちが開催される。唐津くんちは、16世紀の終わりに始まったと伝えられる唐津神社の秋祭りだ。揃いの法被姿に身を固めた若者たち数百人が、獅子や龍、浦島太郎と亀、兜など、昔話にまつわる勇壮華麗な十四台の曳山を3日間にわたり曳き回す祭りだ。その曳山の人形が数台日本人学校の玄関のケースに飾ってある。

食も充実している。佐賀牛・呼子の活きイカ・鷹島のふぐなど、海のものも山のものも豊富だ。今年に入って、「飴源」(日本料理)「つく田」(寿司)がミシュラン二つ星を獲得し、キャラバン(ステーキハウス)はミシュラン一つ星を獲得した。いずれの店も有名人が訪れる唐津の名店だ。



釜山から唐津までは、飛行機と福岡空港から高速バスを使えば、2時間程の所要時間だ。到着時には、長さ5kmの日本三大松原の一つである「虹の松原」と玄界灘が出迎えてくれるだろう。史跡巡り・祭り・焼き物・佐賀牛・活きイカ、この秋、唐津に足を伸ばしてみたいだろうか。

